

## 平成28年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	中小企業組合等共同施設等災害復旧事業			担当部局庁	復興庁			作成責任者				
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 後藤 浩平				
会計区分	東日本大震災復興特別会計											
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日付け東日本大震災復興対策本部)							
主要政策・施策	-			主要経費	中小企業対策							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域経済の核となる中小企業等グループが復興事業計画(県の認定によるもの)に基づき、その計画に必要な施設等の整備等を行う場合に、国と県が補助することによって、東日本大震災に係る被災地域の復旧及び復興を促進することを目的とする。 また、被災した商工会、商工会議所等の指導・相談施設等の復旧経費を補助することにより、商工会等が担っている中小企業支援機能を回復することを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域経済の核となる中小企業等グループが復興事業計画(県の認定によるもの)に基づき、その計画に不可欠な施設等の整備等を行う場合に、原則として国が1/2、県が1/4を補助する。 また、商工会等の中小企業支援機能を回復するため、被災した施設等の復旧経費を国が1/2を補助する。											
実施方法	補助											
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求						
		当初予算	25,006	22,066	40,000	29,000	33,500					
		補正予算	20,400	-	-	-						
		前年度から繰越し	100,495	85,877	46,767	51,982						
		翌年度へ繰越し	▲ 85,877	▲ 46,767	▲ 51,982	-						
		予備費等	-	-	-	-						
	計	60,024	61,176	34,785	80,982	33,500						
	執行額	45,605	28,400	13,684								
執行率(%)	76%	46%	39%									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度				
	交付決定した93箇所の商工会等の中小企業支援機能を回復させる	商工会等の中小企業支援機能の回復状況(交付決定した箇所のうち、当該年度までに事業完了した箇所の割合)	成果実績	箇所	89	90	91					
			目標値	箇所	90	91	93		93			
			達成度	%	99	99	98					
定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度					
県から交付決定を受けた事業者(青森県、岩手県、宮城県、福島県)のうち、売上げ、経常利益または雇用数が震災前の水準まで回復した事業者の割合が80%になることを目指す	県から交付決定を受けた事業者(青森県、岩手県、宮城県、福島県)のうち、売上げ、経常利益または雇用数が震災前の水準まで回復した事業者の割合	成果実績	%	-	-	82						
		目標値	%	-	-	80						
		達成度	%	-	-	102.5						
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
	補助金交付件数 (中小企業等グループ数)	活動実績	グループ	49	31	48						
当初見込み												

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	補助金交付件数 (商工会等)	活動実績		箇所	0	1	1
		当初見込み	箇所	0	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	補助実績額／中小企業等グループ数	単位当たりコスト		百万円	357	430	346
		計算式	百万円/グループ		17,488百万円÷49グループ	13,335百万円÷31グループ	16,591百万円÷48グループ

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	補助実績額／交付箇所数	単位当たりコスト		百万円	0	170	32
		計算式	百万円/箇所		0百万円÷0箇所	170百万円÷1箇所	32百万円÷1箇所

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	中小企業組合等協同施設等災害復旧費補助	29,000	33,500	土地の嵩上げや土地区画整理事業の進捗等を踏まえた被災地のニーズの変化によるもの。
計	29,000	33,500		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	IV. 中小・地域						
	施策	5. 福島・震災復興						
	測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
		実績値	—	—	—	—	—	—
		目標値	—	—	—	—	—	—

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

東日本大震災に係る被災地域の復旧及び復興を促進することにより、売上げ、経常利益または雇用の拡大を図り、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故からの復興と新たな時代を担う産業の創出による「新生ふくしま」の実現に資する。

改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
		成果実績						
		目標値						
	達成度	%						
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
		成果実績						
目標値								
達成度	%							

本事業の成果と改革項目・KPIとの関係			
-			
事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	東日本大震災からの早期の復旧・復興を目的とする事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業の事業規模は地方自治体のみでの対応は困難。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	東日本大震災からの早期の復旧・復興を目的とする事業であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先は被災地域の県としているため、選定は妥当。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	被災企業であることから、当該負担関係は妥当。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助事業の執行にあたっては、都道府県知事の復興事業計画の認定を受ける等の審査を行っており、必要なものに限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	土地区画整理事業の遅れ等の事業者の責めに帰さない事由により不用が生じ、また同様の理由により事業者の事業着手や進捗に遅れが生じたため繰越が生じている。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	補助事業の執行にあたっては、都道府県知事の復興事業計画の認定を受ける等の審査が行われている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標を達成している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業再開につながっている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	交付要件として、①経済取引の広がり観点から、地域にとって重要な産業のクラスター、②雇用の規模の観点から、地域で重要な位置付けを有する中核企業とその周辺企業、③地域はもとより我が国経済にとって重要なサプライチェーンを形成している企業グループ、④地域コミュニティにとって不可欠な地域の中心商店街等に対象を限定するとともに、県の計画認定審査会や国による補助事業審査委員会による審査等を実施するなどにより、効果的な被災地域の復旧・復興に向けた支援が行われている。	
	改善の方向性	計画認定や交付決定に際し、外部審査委員会での審査、事業期間における進捗、経費支出の必要性、計画の妥当性などの確認を引き続き行い、着実な事業成果の達成をはかる。	
外部有識者の所見			
毎年度多額の繰越・不用を生じている。 執行見込みを精査し予算規模の適正化を図ること。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通	平成27年度に多額の繰越・不用を生じていることから、本事業のニーズの把握に努め、適切な予算規模について精査しつつ、予算の効率的な執行を進めるとともに、復興特会事業としての終期について検討を行うことが必要である。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	中小企業等グループが復興事業計画の実施に必要な施設等の整備等を行うため、引き続き、本事業のニーズの把握に努め、繰越・不用を極力生じないよう、事業終期を見据え、適切な予算の執行に努めていく。		

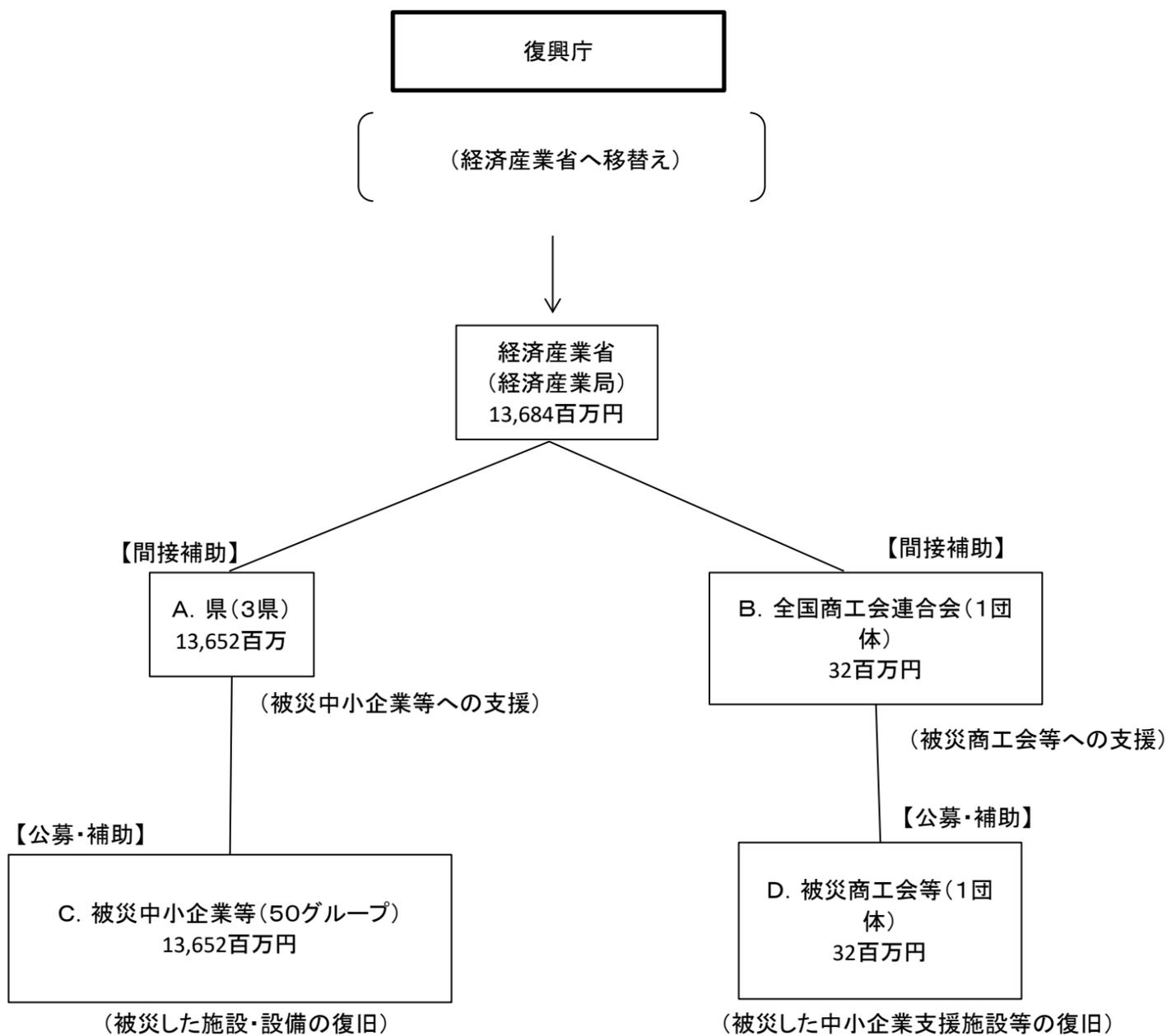
備考

関連する過去のレビューシート of 事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	102		
平成25年度	143	平成26年度	168	平成27年度	0170		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.宮城県			B.全国商工会連合会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金	被災中小企業等への支援	6,638	中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金	被災商工会等への支援	32
計		6,638	計		32
C.被災中小企業等グループ(宮城県)			D.小高商工会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金	被災した施設・設備の復旧	6,638	中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金	被災した中小企業支援施設等の復旧	32
計		6,638	計		32

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宮城県	8000020040002	被災中小企業等への支援	6,638	-	-	-	
2	福島県	7000020070009	被災中小企業等への支援	5,176	-	-	-	
3	岩手県	4000020030007	被災中小企業等への支援	1,838	-	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全国商工会連合会	9010005017583	被災商工会等への支援	32	-	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	被災中小企業等グループ(宮城県)		被災した施設・設備の復旧	6,638	-	-	-	
2	被災中小企業等グループ(福島県)		被災した施設・設備の復旧	5,176	-	-	-	
3	被災中小企業等グループ(岩手県)		被災した施設・設備の復旧	1,838	-	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	小高商工会	2380005007265	被災した中小企業支援施設等の復旧	32	-	-	-	

チェック

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載